

生麦電線共同溝工事において 「見積りを活用する積算方式」と「難工事指定」を試行します

記者発表資料

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないなどの理由により、入札不調となる工事が多発しているところです。

この理由の一つとして、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから、『見積りを活用する積算方式』と『難工事指定』を試行します。

上記工事は、交通量が多い市街地で行う工事であり、制約条件が多く厳しい現場のため、施工にあたっては作業効率が低下する事が考えられることから入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。

見積りを求める工種は、過去に入札不調となった工事の実績により標準的な積算との乖離が予想される工種より選定しています。

また、通常の工事と比較して施工条件が厳しく、作業効率が悪い工事を一定以上の工事成績で完成させた場合に来年度以降に発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」において、総合評価項目に「難工事施工実績あり」として加点対象とする「難工事指定」の試行を併せて実施することとしました。

平成20年10月2日
国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局
技術管理課 建設専門官 新井 正 (電話 048-600-1331)
技術調査課 課長補佐 浅古 勝久 (電話 048-600-1332)

横浜国道事務所 電話 045-311-2981
計画課長 外川 和彦 (内線261)
道路工事調整課長 俣島 信一 (内線481)

《見積りを活用する積算方式の工事概要》

●生麦電線共同溝工事

- 1) 工事場所： 国道15号 神奈川県横浜市鶴見区生麦1丁目地先
- 2) 工 期： 契約の翌日から平成21年3月31日まで
- 3) 入札方式： 一般競争 施工体制確認型 総合評価方式（標準Ⅱ型）
- 4) 工事種別： アスファルト舗装工事
- 5) 工事概要： 工事延長 L=465m（下り線）
 - ・開削土工 1式
 - ・本体布設工 1式
 - （ 特殊部布設工 23箇所
 - 電力管布設工 約3,204m
 - 通信管布設工 約763m ）
 - ・仮復旧工 1式
 - ・仮設工 1式
 - ・雑 工 1式
- 6) 見積りの提出を求める工種：
直接工事費（特殊部布設工、管路部布設工）
- 7) スケジュール：
入札公告：平成20年10月 2日（木）
入 札 日：平成20年11月25日（火）